

ひ

ひとつに世界に挑戦

総社ドッグでギネス記録に挑んだ1日



「総社ドッグの長さ163.1m」でギネスへ申請中!

ギネスの規定にのっとり、完成した総社ドッグを約600人で持ち上げた



▲テントの長さだけ総社ドッグを作る。横を走る列車からその長さが分かる

▼一本もののソーセージが切れないよう慎重に、パンの横に置く



「がんばれ」と保育園児も応援



一本もののパン約230mを移動式オーブンで焼き上げ、喜ぶボランティアの中学生

一本もののソーセージの持ち上げに成功

パン焼きは順調だといっこり



完成する総社ドッグ



パン生地をつないで伸ばす



パン生地を成型する中学生



午前5時42分。パン焼き開始

常盤公園西のJR伯備線沿いの市道で7月30日、ホットドッグのご当地グルメ「総社ドッグ」でギネス記録に挑んだ総社市民まつり実行委員会は、「総社ドッグの長さ163.1m」でギネス記録の申請をする。

午前5時42分から約10時間かけ約230mのパンを焼き上げ、一本もののソーセージをはさみ総社ドッグにした。総社ドッグは総社産の品を2品以上使用し認定されたものをいう。今回のものは、パンとソーセージの肉、マスタードにまぜたパセリの3品が総社産だ。

パン焼きをはじめ、申請に必要な一本もののソーセージやパンの持ち上げなどに延べ約900人の市民が参加。ソーセージ204.7mを挟んだ総社ドッグの持ち上げに成功したものの、ソーセージに切れた部分があり、163.1mでのギネスの認定を待つことになった。

「総社ドッグで総社を発信しようと始めた。市民の皆さんの心が一つになってできた今日の結果がうれしい」と、同委員会の松本明実行委員長。参加した人全員が、一つになれたことを実感できた大いなる挑戦だった。